

金沢学院大学大学院

2025 (令和 7) 年度 入学者選抜試験問題 (I 期)

2024 年 9 月 7 日 (土) 実施

人文学研究科心理学専攻
修士課程

小論文

注意事項

- 問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 解答は、解答用紙（提出用）に書きなさい。
- 問題冊子・解答用紙（提出用）に受験番号・氏名を記入しなさい。
- 試験終了後、問題冊子・解答用紙（提出用）・下書き用紙を回収します。

受験番号	
氏 名	

次の問 1～問 4 について、すべてに解答しなさい。

問 1

以下の文章を読み、後の問い①～③に解答しなさい。

スクールカウンセラーである A は 4 月にある高校に着任した。7 月に入り、3 年生の担任をしている教諭から次のような相談を受けた。

「ある男子生徒の④進路指導を行っているのですが、親が医者なので、医者になる、それ以外の進路を考えていない、と言われてしまいました。成績的にも医学部進学は厳しく、特に理数系科目の授業にはついていけず、数学の時は体調不良を訴え、保健室に行くこともあります。歴史など社会科の科目のほうで成績も良く、本人も楽しそうです。面談の時に、他の学部も考えてみたらどうかと本人に聞いたのですが、医学部に行くとしかなわなくて……。これから、どう指導したらよいかわからず、困っています。」

- ①下線部④に関連して、「アイデンティティ」について、エリクソンの心理社会的発達理論に基づき、150 字程度で説明しなさい。
- ②この事例に対して、スクールカウンセラーとしてコンサルテーションを行う場合、誰にどのような対応を行うかを説明しなさい。
- ③この事例に対して、スクールカウンセラーとしてカウンセリングを行う場合、誰にどのような対応を行うかを説明しなさい。

問 2

援助者が支援を必要とする人がいる場に出向いていく「アウトリーチ」について、その意義を、援助者が面接室で要支援者の来談を待つ心理学的支援と比較しながら 300 字程度で説明しなさい。解答には以下の用語を全て用い（順番は変えてよい）、語には下線を付すこと。

エンパワメント、コミュニティ、コラボレーション

問 3

いわゆる「アルバート坊やの研究」(Watson & Rayner, 1920) について、後の問い①、②に解答しなさい。なお、解答の際「アルバートが、本当は誰であったか」に関して言及する必要はない。また、この論文において、アルバートは「生まれたときから健康であり、これまで病院に運ばれた子の中で最も成長が速やかで、生後 9 ヶ月で体重 21 ポンド（約 9.5 キログラム）であった」と述べられている。

- ①この研究において行われた条件づけの手順を 150 字程度で説明しなさい。
- ②現代の心理学における倫理的規範に照らして、この研究が持つ倫理的問題点を 150 字程度で指摘しなさい。

問 4

以下に示すクロス集計表は、ある精神疾患に罹患しているかどうかを調べるために作成された簡易的な検査による判定結果と、医師の診察による正式な診断結果との組み合わせについて集計したものである。この表をもとに、後の問い①～④に解答しなさい。

		簡易的な検査による判定結果		計
		罹患していない	罹患している	
正式な診断結果	罹患していない	95	5	100
	罹患している	5	3	8
計		100	8	108

- ①この検査による判定結果が「罹患していない」であった時、判定が誤診となる確率は何%であるかを求めなさい。
- ②この検査による判定結果が「罹患している」であった時、判定が誤診となる確率は何%であるかを求めなさい。
- ③この検査が誤った判定を下す確率は何%であるかを求めなさい。回答は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位の値を示すこと。
- ④ここまでの設問への回答を踏まえたうえで、この検査を使用する際の注意点を100字程度で述べなさい。

